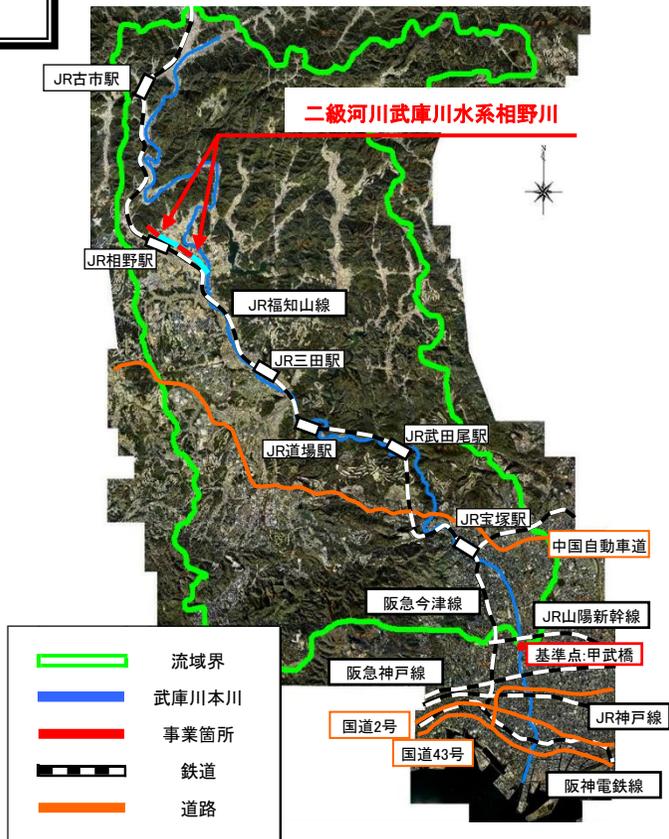


河川事業 二級河川武庫川水系相野川（継続：再評価〔第2回〕）

位置図



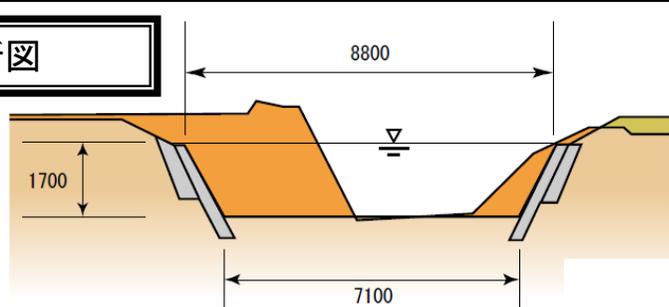
事業概要および進捗状況

工区	事業区間	整備内容	計画規模		今回評価時点	前回評価時点
武庫川水系 相野川	三田市 <small>ほら</small> 洞 ～ 三田市 <small>しもあいの</small> 下相野	整備延長1,700m 下流工区900m 上流工区800m 河床掘削 7,000m ³ 護岸整備 9,000m ² 井堰改築 1基 橋梁架替 1橋	1/2	事業費	9.0億	6.0億
				残事業費	5.2億	2.9億
				進捗率	42.2%	51.7%
				完了予定年度	R12	R7

河川整備計画策定年度	平成23年度
前回評価年度	令和2年度
再評価年度	令和7年度

(二)武庫川水系河川整備計画に位置づけられた全ての事業によるB/C	12.4
-----------------------------------	------

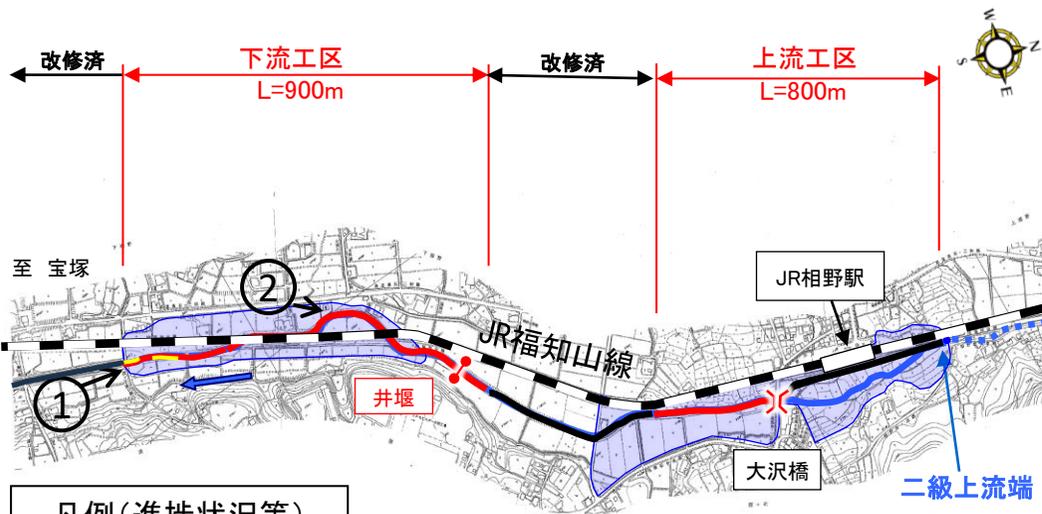
横断図



事業の目的、必要性・優先性

目的	武庫川水系河川整備計画に基づき、昭和36年6月洪水（戦後最大の洪水）と同規模の洪水を安全に流下させる。
必要性 優先性	①目標流量45m ³ /sに対し、現況流下能力は約15m ³ /sであり、流下断面が不足している。 ②平成8年や平成16年の洪水により、浸水被害を受けており、早期の治水安全度向上が求められている。

事業進捗平面図



凡例(進捗状況等)

- R2以前
- R3～R7
- R8以降
- H16浸水区域

進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H26～R12)	【事業費＝9.0億円】 ・整備延長 1,700m ・整備概要: 河床掘削、護岸 井堰改築、橋梁架替	流下能力の向上 (戦後最大の洪水である昭和36年6月洪水を安全に流下)
事業採択～再評価まで (H26～R7)	【事業費＝3.8億円】 ・整備延長 900m ・整備概要: 河床掘削、護岸	
今後予定 (R8～R12)	【事業費＝5.2億円】 ・整備延長 800m ・整備概要: 河床掘削、護岸、 井堰改築、橋梁架替	

現況写真

①残事業区間(下流工区下流端)



②残事業区間(下流工区井堰)



工程表

- : 前回計画
- : 実施・計画

整備内容	前期										後期											
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
下流工区	調査設計																					
	用地補償																					
	築堤・護岸																					
	井堰																					
上流工区	調査設計																					
	用地補償																					
	築堤・護岸																					
	橋梁架替																					

再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	<ul style="list-style-type: none"> ・既設護岸を流用予定であったが根入れ不足が判明し積み替えに変更したこと、橋梁架替に伴う仮橋の追加により事業費を増額する。 ・下流工区で一部の用地買収が難航しているため、当該区間および上流工区の工事に着手できず、工程が7年遅延したことから、完了予定年度を令和12年度とする。
再評価の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性は事業採択時と変わっておらず、地域住民の安心安全な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。